

北海道(道央圏)におけるSDGsローカル・アジェンダの策定とESD地域拠点形成

〒060-0061
北海道札幌市中央区南1条西5丁目
愛生館ビル5F
電話:011-252-6752
E-mail:syu@sapporoyu.org
http://sapporoyu.org/



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



NPOとSDGsに関する学習会	60人
冊子「SDGs×先住民族」の配布	3,000部
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する達成度	90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

自治体の議員や行政職員をメインターゲットに、「NPOとSDGsに関する学習会」を開催。参加者は集まったが、議員や職員の参加は期待したほど多くなかった。

■ 工夫した点

日本において注目されにくい先住民族の課題を、SDGs17目標に沿って紹介する冊子を作成。SDGsと地域目標、先住民族の権利回復という課題を重ね合わせた。

課題

①ESDの面的な広がり不足。②ESDの実践の多くが既存の教育・学習活動の延長線上にとどまり、開発や教育のあり方の根本的な変革につながっていないこと。

目標

①RCE北海道道央圏の確立とその指針となるローカルアジェンダの普及・共有、②市民による課題解決に向けたESDの活性化、③ESDに基づくネットワーク形成。

活動内容と成果

●NPO議員連盟、SDGs市民社会ネットワークなどと共催で、「NPOとSDGsに関する学習会」を開催。シングルマザー、農業従事者、先住民族などの視点から地域の課題や提案を発信。●「SDGsの発信」「SDGsと地域づくり」をテーマにそれぞれ研修会を開催。●小冊子『SDGs北海道の地域目標をつくろう2 SDGs×先住民族』を作成。北海道という地域の未来を考える上で基礎となる先住民族(アイヌ民族)の歴史や現状、課題や目標をSDGs17目標にひきつけて紹介。



NPOとSDGsに関する学習会

全助成期間の活動を振り返って

当事業を行った3年の間に、RCE北海道道央圏協議会が設立され、北海道(道央圏)でESD/SDGsを推進する分野・セクターをつなぐプラットフォームが形成された。当事業では、市民による地域目標づくりにいち早く着手、全国的にも注目を集めた。また、SDGsの「誰ひとり取り残さない」という理念に基づき、市民、とりわけ脆弱な立場に置かれがちな人々の視点と参加を重視し、それらを冊子の形にまとめ、紹介した。



愛媛県内子町SDGsワークショップに参加

今後の展望

行政や企業、大学等と市民活動とを結びつける接点は形成されたものの、市民による提案や発信、課題解決に向けた取組みが他のセクター、とりわけ行政の計画や政策に十分に反映されるような形はいまだできていない。今後は市民の意見を政策に反映させるため、SDGsを抛り所としつつ、①NPO・NGOの政策提言力の強化、②異なるセクター間の「対話」の場の設定、をすすめる。